

夕暮れ時の早めの点灯・ピカピカ運動

実施要綱

1 目的

例年、秋や冬の時期は、夕暮れ時や夜間に、死亡事故や重体事故などの重大な交通事故が多く発生していることから、車両の早めのライト点灯（基本はハイビーム）、歩行者の反射材の着用等を推進し、夕暮れ時や夜間の交通事故防止を図ります。

2 期間

令和5年11月1日（水）～ 令和6年1月31日（水）

冬の交通安全県民総ぐるみ運動
県民交通安全の日

12月1日（金）～12月10日（日）
毎月10日

3 運動の重点

◎夕暮れ時や夜間の交通事故防止

◎高齢者の交通事故防止

4 運動の推進方法

推進機関・団体は、相互に連携を密にして、それぞれの特性に応じ、積極的に安全教育や交通環境の整備、道路秩序の維持等に努め、各組織に具体的推進事項を周知徹底させるとともに、新聞、テレビ、ラジオ、SNS等を活用した広報啓発により、幅広い「県民総ぐるみ運動」として盛り上がるよう努めます。

夕暮れ時の「早めの点灯」・「ピカピカ」運動

目が慣れて、「見えない」危険な「見える」安全に！！

運転手から見える距離は服の色によって異なります

明るい服装でも見えないことも・・・

下向きライト

運転手は下向きライトのひとが多い！

黒っぽい服装 約26m

明るい服装 約38m

反射材着用 57m以上

種類や取付位置による違いはありますが、反射材を使用していない歩行者より2倍以上手前から発見できるといわれています。

下向きライトのピカリが届くのは 約40m

乾いた道路を時速60km/hで走る車は、止まるまでに約44mかかります。

〈 宮 崎 県 警 察 〉

宮崎県交通安全対策推進本部

～夕暮れ時や夜間の交通事故防止～

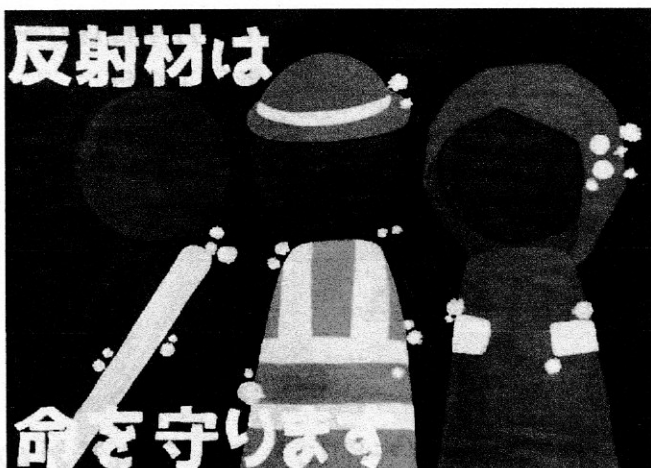
運転者は・・・ 夕暮れ時の早めのライト点灯・基本はハイビーム

- 夕暮れ時は、車も自転車も早めにライトを点灯させよう。
- 歩行者等を早く発見するために、夜間の走行は、ハイビームが基本です。
対向車や前を走る車がいる場合などには、ロービームに切り替えよう。

※ハイビームは約100m先、ロービームは約40m先まで照射

歩行者は・・・ 明るい目立つ色の服装・反射材

- 歩行者は、外出する際、明るい目立つ色の服装と反射材を必ず着用しよう。
- 泥酔して路上に寝込むことは、重大な交通事故につながるので絶対にやめよう。



令和4年度交通安全ポスターコンクール 高校・一般の部 銅賞 小川 彩心さんの作品

～高齢者の交通事故防止～

運転者は・・・ 「制限運転」の実施

- 自身で決めた運転ルールを守る「制限運転」を積極的に実践しよう。
- 運転に不安を感じたら「安全運転相談ダイヤル#8080」や「高齢者運転免許証返納メリット制度」等を活用し、運転免許の返納を考えよう。
- 70歳以上の方は積極的に高齢運転者マークを付けよう。

歩行者は・・・ 高齢者交通安全5則

- 「安全が確認できるまで待つ」、「周囲の状況を見る」
- 「無理をせず止まる」、「反射材用品を着用して目立つ」
- 「身体機能の変化をもっと知る」で、安全に通行しよう。

